

令和4年度

信濃教育会教育研究所

研修員募集案内



自分自身の教師としてのあり方とは何なのか、子ども達が求める教師とは。

先生方が追究したい、教師として必要な研究がここにあります。

追究したこの3年間は、先生にとって教壇に立つ上で大きな糧となります。

他で得られない貴重な3年を今、体験してみませんか？

研究体制

現今の教育課題の研究とテーマの検討・設定

《1年次研修員》 定例研究会	県教委の公募選考を経て入所。各自のテーマを所長・特任所員・部長の助言のもとに研究する。 年間18回のテーマ研究会を通して、研究を深め、中間・最終の報告会をもつ。
《2年次研修員》 定例研究会	現場に戻り、日常の授業等を通して研究し、実践事例としてまとめる。 年間11回のテーマ研究会を通して、実践的に研究を深め、中間の報告会をもち、研究紀要にまとめる。



研修・参画の場



主な研修内容

- ・1年次研究会
所長講義、特任所員講義
各種研修会、読み合わせ等
- ・各自のテーマに応じた視察研修、
研究大会等への参加
- ・現場の授業実践に学ぶ協力校、
施設等での授業参観、実践実習
- ・所長、特任所員による土曜公開講座
- ・研究所 研究発表会
研修員は、3年目に県内で実践研究の成果を発表する。

第1テーマ

教師と子ども、子ども相互の関係づくり

学級づくりの基本は、子どもの個性を生かし、ともに生き、ともに学ぶ合う共同性を育てることであり、教師と子ども、子ども相互の学び合いの関係づくりと不可分である。新たな実践を拓く支援について考える。

▼関係づくりにかかわり、情緒不安定、発達障がいなどの視点や通常学級における配慮を要する児童生徒といった視点からも、具体的な事例に即して支援を考える。



第2テーマ

子どもの学びが深まる授業づくり

授業づくりを軸とする学校づくりは不易の課題である。子どもはどのように意欲を高め、友と学びを深めていくかを、子どもの具体の姿や教師の指導に即して考える。

▼各教科や総合的な学習の時間の授業づくりにかかわり、主体的・対話的で深い学びを子ども理解、素材研究、教材化の研究といった視点やICTの活用といった視点から事例に即して考える。

第3テーマ

今日的な課題に対応する多様な学び

子どもを取り巻く環境は日々変化し、学校もそれら今日的課題への主体的な対応が不可欠になる。地域・学校の特色や社会の変化に応じた多様で豊かな学びをどのように創り出していくか考える。

▼複式学級などの異年齢による学び、地域との連携、カリキュラムといった視点やオンラインを取り入れた授業といった視点からも事例に即して考える。



さあ、教師として大きく成長してみませんか？

令和4年度 信濃教育会教育研究所 研修員募集要綱

1 目 的

本県教育振興の一方策として、県内教職員が信濃教育会教育研究所へ入所し、一定のテーマに従って研究する。

2 期 間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（引き続き学校現場で2年次研修をする）

3 応募資格

- (1) 5年以上本県内の各種の公立学校に教諭として勤務し、現在引き続きその職にあること。
- (2) 研修後、本県教職員として教育振興のために貢献しようとする意思が強固なこと。
- (3) 所属学校長の推薦を得ていること。

4 研究テーマ

- 第1テーマ 教師と子ども、子ども相互の関係づくり
- 第2テーマ 子どもの学びが深まる授業づくり
- 第3テーマ 今日的な課題に対応する多様な学び

5 募集人員

各テーマにつき、若干名とする。

6 研修員の決定

応募者の中から選考して令和4年1月末日までに、長野県教育委員会において決定する。

7 応募の方法及び期限

応募者は次の書類を令和3年10月20日（水）までに市町村教育委員会へ提出する。

（様式については、長野県教育委員会の示したものによる）

- (1) 研修派遣願（様式第1号）
- (2) 添付書類
 - ① 履歴書（様式第2号）
（出身大学、学部、学科、専攻、卒業論文題目及び指導教授名等を明記。※写真添付）
 - ② 研究歴（様式第3号）
 - ③ 研究テーマについて（様式第4号）
（「志望テーマと研究の窓口とする教科名領域名等」及び「研究内容」を第一志望、第二志望について各1000字以内で簡潔に記す）
 - ④ 校長の意見（推薦）書（様式自由）

8 出願書類の経由

- (1) 市町村立学校の教員の出願書類は校長、市町村教育委員会（学校組合教育委員会を含む）及び所轄の教育事務所長を経由し、義務教育課長へ提出する。
- (2) 県立学校の教員の出願書類は校長を経由して、主管課長へ提出する。

入所にあたって 研究所では自分の実践の具体を通して「振り返り」を行います。その際、自分の授業の単元・題材等を通したビデオ記録（子どもの発言、つぶやき、表情等のわかるもの）・学習カード・授業記録等の資料がもたになります。日々ごく普通に実践されているものでかまいません。共同研究の記録ではなく、自身の日常の授業の実践記録をご用意ください。